



雨の季節、災害時に命を守る時間

先月下旬に発生した台風 1 号は、梅雨前線を刺激し関東・東北に大雨をもたらしました。田植えの直後でもあり水は大事ですが、最近の梅雨時期は線状降水帯が発生し局所的に大きな傷跡を残します。

1 月にあった能登地震や航空機同士の衝突事故などから、命を守る時間があることを認識させられました。今回は意識しておきたい時間のこと、そして備えるべき食料についてご紹介してまいります。

「72 時間の壁」、「3 の法則」



能登地震は元旦の夕方発生しました。発生から 124 時間が経過した 1 月 6 日に女性が救出されたニュースは「奇跡」として報じられ、報道の中で「72 時間の壁」、というものがありません。

阪神淡路大震災のとき、発災当日中の生存率は 75%、翌日は 24%、3 日目が 15%、4 日目は 5%まで低下したという経験が活かされたものです。72 時間をすぎて救出された人は、「呼吸ができたこと」「水が得られたこと」「体温が保てたこと」という環境下にいたことが奏功しています。

こうした経験則から、「3 の法則」というものがあります。①空気がないと 3 分②体温が維持

できないと 3 時間③水がないと 3 日④食料がないと 3 週間、が生き延びるための目安になります。

日航機の「90 秒の奇跡」は事前の準備があったからこそ

1 月 2 日の夕方のニュースで炎上する旅客機の映像に衝撃を受けたこと、「乗客は全員無事です」とのアナウンスに感動を覚えました。90 秒以内に全員が脱出する訓練の成果とのことですが、90 秒ルールとは航空会社が定めたものではなく、航空機メーカーに対して求められている設計基準です。しかし、目の前に炎が見えている中、パニックにならないよう乗客を冷静に誘導していくのは訓練あってのことと思います。ブルーモーメント第一話で山下智久さんが言っていました「奇跡は準備しておくから、起こせるんだ」と。日本航空の搭乗員さん達の準備が、本当に素晴らしかったということです。

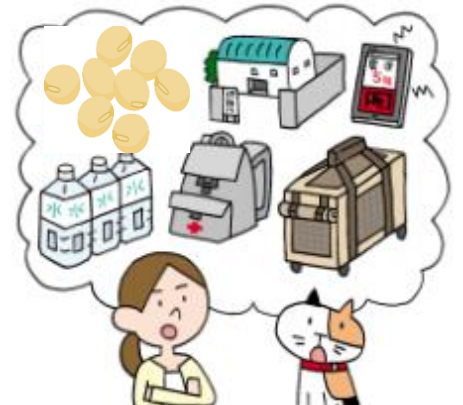
「自助の備え」、食料備蓄は 1 週間

今回の能登地震では、被災地が半島であったことで、救援のための車両のアクセスがしにくい点が指摘されました。政府は 1 週間程度の食料備蓄を推奨しています。大人 2 人の 1 週間分とは、水 2ℓ×6 本×4 箱、米 4^{kg}、乾麺 4 箱、レトルト食品 24 箱、缶詰 18 缶、日持ちする野菜、梅干し、のり など。結構な量になるなあと感じますが、場所をとるのは「水」ぐらいなもので、その他は備蓄しておくことは十分可能です。

ストックに「蒸し大豆」のすすめ

災害直後は弁当やおにぎりになることが多く、①食物繊維②ビタミン③ミネラルが不足し、口内炎や便秘などの体調不良を起こしやすくなります。

これを補う「蒸し大豆」をストックに入れておくようご提案いたします。大豆は良質なたんぱく質と食物繊維を摂ることが出来き、加えてビタミン B1、B2、鉄、カルシウムも含まれています。開封すればそのまま食べられるものがありますから、ストックに入れてみてはいかがでしょうか。



認知症高齢者が七人中一人になる時代



先月 2030 年には認知症の患者さんが 523 万人になり、高齢者の 14%にあたる 7 人に 1 人が認知症患者になるとの衝撃の報告がありました。高齢者人口がピークとなる 2040 年には、認知症患者数は 584 万人になるそうです。自分のことと考えれば、だれが介護するのか、仕事と介護の両立はできるか、など心配は尽きません。これまで政府は介護職員の給料増額などを打ち出していますが、いまだ人員不足は解消出来ていません。

アルツハイマー病 治療薬「レマネカブ」

認知症の原因の 67%を占めるアルツハイマー病の治療薬として「レマネカブ」があります。神経細胞を壊してしまう原因物質「アミロイドβ」を排除するはたらきがあり、病気の進行を遅らせる効果があります。

薬は2週間に1度通院し1時間かけて点滴で投与します。18カ月継続投与する必要があり、MRIで経過観察しますので対応できる医療機関はかなり限定されます。また、費用は年間298万円とかなり高額ながら、今年から保険適用となっており、3割負担なら月10万円程度です。

「生活を楽しむ」意識が認知症予防に

よく笑う人は病気のリスクが低減すると聞きます。笑いが健康にいいのは、①ストレス時の悪性ホルモンを減らす②自律神経を活性化させる③会話を楽しみ人とのつながりが持てることが挙げられます。当然に認知機能の維持にも効果が期待でき、生活を楽しもうという意識が生まれるそうです。

認知機能を維持する食べ物 … ここにも「納豆」

認知症予防になる食べ物は、「青魚」「ほうれん草」「納豆」「枝豆」「イチゴ」「キウイ」などが挙げられます。そのほかカレー粉に含まれる「ウコン」やコーヒーや赤ワインにある「ポリフェノール」もおススメです。ただし、ビール4本以上の大量飲酒は認知症リスクを高めますのでお気を付けください。



シカゴ大豆相場、ドル円相場など

5/30 1 ㄱ/12.13 ㄱ 前月比+0.68 ㄱ、相場はほぼ横ばい状態です。ブラジルで発生した洪水による影響は限定的で、相場に大きな影響はありません。依然として大豆の生産量・消費量とも過去最高の見通しにあり、生産量が上回る予想から、安定供給が期待されます。ただし後述するドル円相場が悪影響をもたらすことは必至です。

ドル円相場「156.7円 前月比△0.1円」… 1990年6月以来の円安水準そのまま

5/30 日本の長期金利が急ピッチで上昇しております。新発10年もの国債利回りは1.075%をつけ、2011年12月以来の高水準にあります。日銀は6~7月に利上げに踏み切るとの予想と国債の買入れ額の減額観測によるものです。一方で失速しない米国景気はインフレの再燃を危惧しており、利下げは遠のいています。当面のところ日銀の利上げに期待するところです。

令和5年産国産大豆の第6回入札結果

北海道・東北の産地銘柄では入札状況はますますながら、西日本、特に九州地方における落札率の低さが目立ちます。昨年は九州・中国地方における雨の被害がなく、豊作にもかかわらず販売が不調なのは残念なことです。5月も厳しい競り合いの中、十分な量を確保できました。弊社のより良い品質の大豆をお使いください。

【入札結果総括】 落札率大幅低下 西日本の影響か

区分	上場数量	落札率	平均価格	前月比
普通大豆	4,405ト	30.1%	8,301円	-444円
特定加工用	2,970ト	48.3%	7,914円	-60円
合計	7,375ト	37.5%	8,100円	-289円

【過去4年間5月の上場数量の推移】

区分	今回	R5年同月	R4年同月	R3年同月	R2年同月
普通大豆	4,405ト	3,969ト	4,910ト	4,386ト	4,035ト
特定加工用	2,970ト	1,130ト	1,208ト	1,001ト	1,020ト
合計	7,375ト	5,098ト	6,118ト	5,387ト	5,055ト
落札率	37.5%	89.1%	78.5%	80.0%	88.6%

【銘柄別落札価格】 平均落札額は参考になりませんが、東日本は上昇傾向

産地	粒別	品種銘柄	今回	前月	増減	落札率
北海道	小粒	ユキシズカ	9,586円	9,443円	143円	75%
青森	大粒	おおすず	8,883円	8,670円	213円	11%
宮城	大粒	ミヤギシロメ	8,326円	8,900円	-574円	83%
宮城	大粒	タチナガハ	9,565円	9,480円	85円	100%
山形	大粒	エンレイ	9,383円	9,560円	-177円	100%

□ 本社	03-3211-4831	□ 飼料部宮城営業所	0229-25-8680
□ 東北第一営業所	0229-54-1151	□ 飼料部福島営業所	0243-24-1240
□ 山形営業所	0234-21-9144	□ 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)	
□ 東北第二営業所	0243-24-5818	□ 大豆保管定温倉庫(宮城大崎市・福島二本松市)	